

1. 学校活用トライアルの様子

放課後で楽しむ！チャレンジウィーク2024in萩山小

<開催目的>
学校施設活用における民間事業の可能性と課題を検証する。

学校教育や習い事では経験できない多様なジャンルの体験プログラムを放課後の教室を活用し提供。今回は、一週間のトライアルイベントとして実施。

<概要>

- 後援 東村山市教育委員会、東村山市立萩山小学校
- 期間 2024年12月9日(月)～13日(金)
- 時間 9日 13:00～14:40、15:00～16:15
10日～13日14:30～15:45
- 会場 東村山市立萩山小学校（ランチルーム、被服室、調理室、体育館）
- 対象 萩山小学校児童 小学1年生～6年生
- 協力 多摩六都科学館/(株)amulapo/一般社団法人日本昔ばなし協会/公益財団法人ダーツ協会
地域企業・講師（相羽建設(株)/(株)大黒屋/IHCHIGO-ICHIE/ガラス工房くらりす）
乃村工芸社（公民連携プロジェクト開発1部/クリエイティブ本部未来創造研究所）
- 参加費 無料
- 告知 チラシの作成、東村山市保護者共通アプリ「れんらくアプリ」より周知。
- 周知 Googleフォームにて受付
- 抽選 定員オーバーになったプログラムにつき抽選を実施。
- 当選 当選者へは保護者のメールアドレス宛にイベント事務局より参加当確の連絡を実施。

参加者について

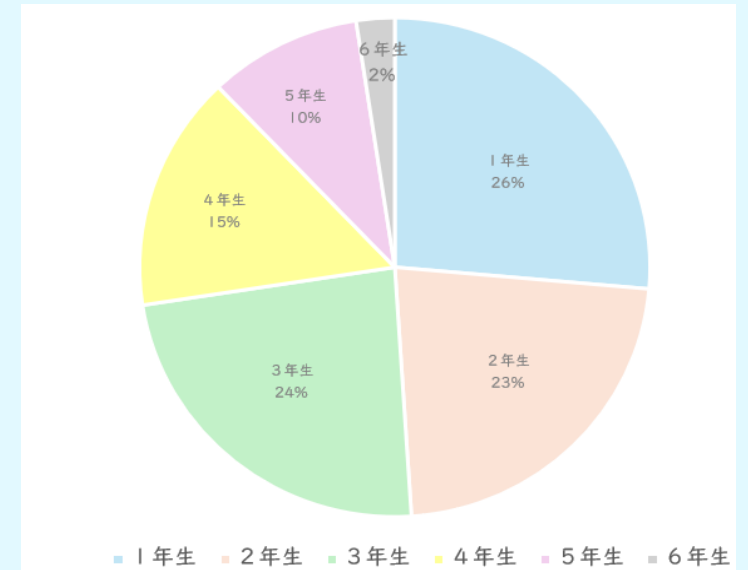
応募児童数159名（全校児童に対し参加率37%）

当選者延べ288名（最大3プログラム/人 参加可能）当日参加者270名

日程	12月9日(月)			12月10日(火)		12月11日(水)	
プログラム	身近なものを使って 手鞠ロケットをつくろう <1～2年生>	身近なものを使って 手鞠ロケットをつくろう <3～6年生>	アニメ声優に チャレンジして絵を学ぼう!	計算力・集中力UP! ゲームダーツ! <3～6年生>	みんなで探そう! "クリスマスモンスタースターって なんだ?!"	"石"と"化石"の観察会!	いろいろな材料を使って! 使って!フォトフレームを作ろう!
提供者	㈱amulapo	㈱amulapo	一般社団法人日本昔ばなし協会	公益財団法人ダーツ協会	乃村工芸社	多摩六都科学館	乃村工芸社
当選者(人)	16	37	9	36	29	24	29
参加者(人)	15	36	8	31	25	24	28
参加率	94%	97%	89%	86%	86%	100%	97%

日程	12月12日(木)		12月13日(金)	
プログラム	ガラスを研がして ストラップを作ろう!	大工さん体験にチャレンジ!	米麹粕で クリスマスオーナメントを作ろう!	かんなりボンネーキを作ろう!
提供者	ガラス工房くらりす	㈱大黒屋	IHCHIGO-ICHIE	相羽建設
当選者(人)	30	26	28	24
参加者(人)	29	25	27	22
参加率	97%	96%	96%	92%

応募者学年比率



実施内容 詳細 <学校施設活用トライアル 放課後の学校施設を活用した体験プログラム>

<周知・制作物>

周知チラシを運動会、学級にて配布。同データを保護者向け「れんらくアプリ」より配信。

放課後で楽しむ! チャレンジウィーク 2024 in 萩山小

★タイムスケジュール★
2024年12月9日(月)～12月13日(金) ※参加者は最終16:30までに退出

12月9日(月)			12月10日(火)			12月11日(水)		
ランチルーム	検閲室	体育館	ランチルーム	検閲室	体育館	ランチルーム	検閲室	調理室
13:00-16:30			13:00-16:30			13:00-16:30		
	13:40-14:40 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!			13:40-14:40 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!			14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!	14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!
	15:00-16:15 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!	15:00-16:15 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!		15:00-16:15 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!	15:00-16:15 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!			

12月12日(木)			12月13日(金)		
ランチルーム	検閲室	調理室	ランチルーム	検閲室	調理室
13:00-16:30			13:00-16:30		
	14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!	14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!		14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!	14:30-15:45 amulapoプログラム 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!

放課後で楽しむ! チャレンジウィーク 2024 in 萩山小

参加費 無料

いつもの学校とは違う!?
放課後、ワクワクする体験が皆さんを待っています。
毎日替わる体験型プログラムを自分で選んで参加できます!

2024年 開催日時 **12月9日(月)～13日(金) 5日間** ※参加児童は最終16:30までに退出

会場 **東村山市立 萩山小学校 ランチルーム・家庭科室・体育館等**

★各プログラム申込方法について★
下記URLまたは右記二次元コードの応募フォームよりご予約をお願いいたします。
<URLをクリックで応募フォームに移行します。>
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLS0zJEEELAlqA5Cv4yBTBk0iUqRqJqH3HzTzFjEW_PrvD0APhW/viewform

申込期限 **11月19日(火)17:00まで**

※参加を希望するプログラムについて、お子様1名ごとに第3層までお申し込みいただけます。
※定員を超える申し込みとなったプログラムは、抽選を行います。抽選者へご連絡いたします。※定員に満たなかったプログラムは、後日、追加募集を行います。
※全プログラム保護者の方にも見学可能です。見学希望の方は、応募フォームにて「保護者見学希望」を選択してください。
※チャレンジウィーク終了後、保護者の皆様には簡単なWEBアンケートを配信しますので、回答のご協力をお願いします。
※本イベントは経済産業省・東村山市・乃村工務社・協力団体等による、記録や広報に使用するための写真・映像撮影が行われますこと、あらかじめご了承ください。(撮影不可・配慮をご希望の方は申込時にその旨のご回答をお願いします。)

放課後で楽しむ! チャレンジウィーク 2024 in 萩山小

★各プログラム内容一覧表★

各プログラム、開始時間10分前までに2階ランチルームに集合してください。各プログラムの教員スタッフが引率し参加児童をご案内します。

12月9日(月)

- amulapoプログラム 1・2年生
身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!
時間: 13:40-14:40 会場: 体育館 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 海ノ貝のまちプロジェクトプログラム 全学年
アニメ声優にチャレンジして海を学ぼう!
時間: 13:40-14:40 会場: amulapo 定員: 30名 対象: 1・2年生
- amulapoプログラム 3～6年生
身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!
時間: 15:00-16:15 会場: amulapo 定員: 30名 対象: 3年生～6年生
- 日本ゲーツ協会プログラム 1・2年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 13:40-14:40 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 3～6年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 15:00-16:15 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 3年生～6年生

12月10日(火)

- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 1・2年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 13:40-14:40 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 3～6年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 15:00-16:15 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 3年生～6年生

12月11日(水)

- 多摩六都科学館プログラム 全学年
“石”と“化石”の観察会!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
いろいろな材料を知って! フォトフレームを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 地域協力プログラム 全学年
ガラスを溶かしてストラップを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 18名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

12月12日(木)

- 地域協力プログラム 全学年
ガラスを溶かしてストラップを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 18名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 地域協力プログラム 全学年
米粉粘土でクリスマスオーナメントを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

12月13日(金)

- 地域協力プログラム 全学年
米粉粘土でクリスマスオーナメントを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

放課後で楽しむ! チャレンジウィーク 2024 in 萩山小

★各プログラム内容一覧表★

各プログラム、開始時間10分前までに2階ランチルームに集合してください。各プログラムの教員スタッフが引率し参加児童をご案内します。

12月9日(月)

- amulapoプログラム 1・2年生
身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!
時間: 13:40-14:40 会場: 体育館 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 海ノ貝のまちプロジェクトプログラム 全学年
アニメ声優にチャレンジして海を学ぼう!
時間: 13:40-14:40 会場: amulapo 定員: 30名 対象: 1・2年生
- amulapoプログラム 3～6年生
身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!
時間: 15:00-16:15 会場: amulapo 定員: 30名 対象: 3年生～6年生
- 日本ゲーツ協会プログラム 1・2年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 13:40-14:40 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 3～6年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 15:00-16:15 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 3年生～6年生

12月10日(火)

- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 1・2年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 13:40-14:40 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 1・2年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
みんなで探そう! “チリメンモンスター”ってなんだ?!
- 日本ゲーツ協会プログラム 3～6年生
計算力・集中力UP! ゲームゲーツ!
時間: 15:00-16:15 会場: ゲーツ協会 定員: 30名 対象: 3年生～6年生

12月11日(水)

- 多摩六都科学館プログラム 全学年
“石”と“化石”の観察会!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
いろいろな材料を知って! フォトフレームを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 地域協力プログラム 全学年
ガラスを溶かしてストラップを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 18名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

12月12日(木)

- 地域協力プログラム 全学年
ガラスを溶かしてストラップを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 18名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 地域協力プログラム 全学年
米粉粘土でクリスマスオーナメントを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

12月13日(金)

- 地域協力プログラム 全学年
米粉粘土でクリスマスオーナメントを作ろう!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生
- 乃村工務社プログラム 全学年
大工さん体験にチャレンジ!
時間: 14:30-15:45 会場: 調理室 定員: 30名 対象: 1年生～6年生

後援 東村山市・東村山市教育委員会

本イベントは、経済産業省「令和6年度 学びと社会の在り方改革推進事業(未来の教室)実証事業」の取組として開催されます。

イベント問合せ先 株式会社 乃村工務社

放課後チャレンジ 担当者宛 houkago-challenge@nomura-g.jp

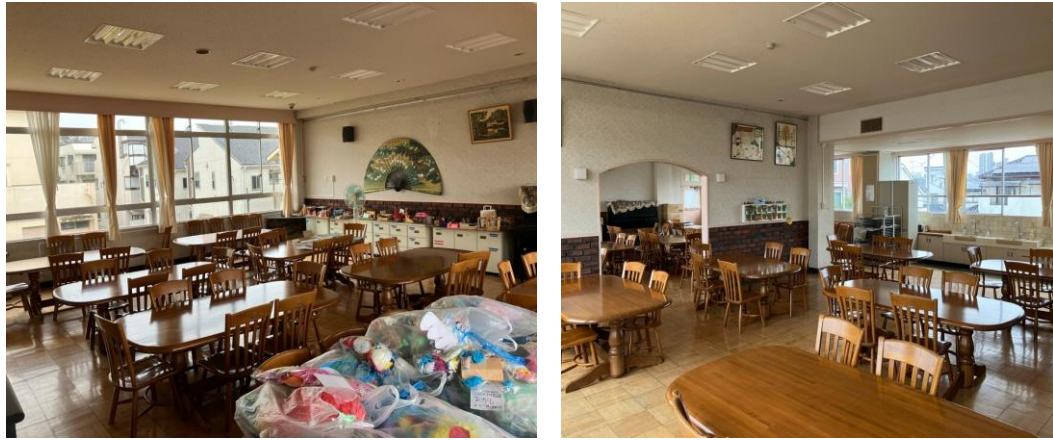
※不明点がございましたら、お気軽にお問合せください。

学校施設活用トライアルの様子

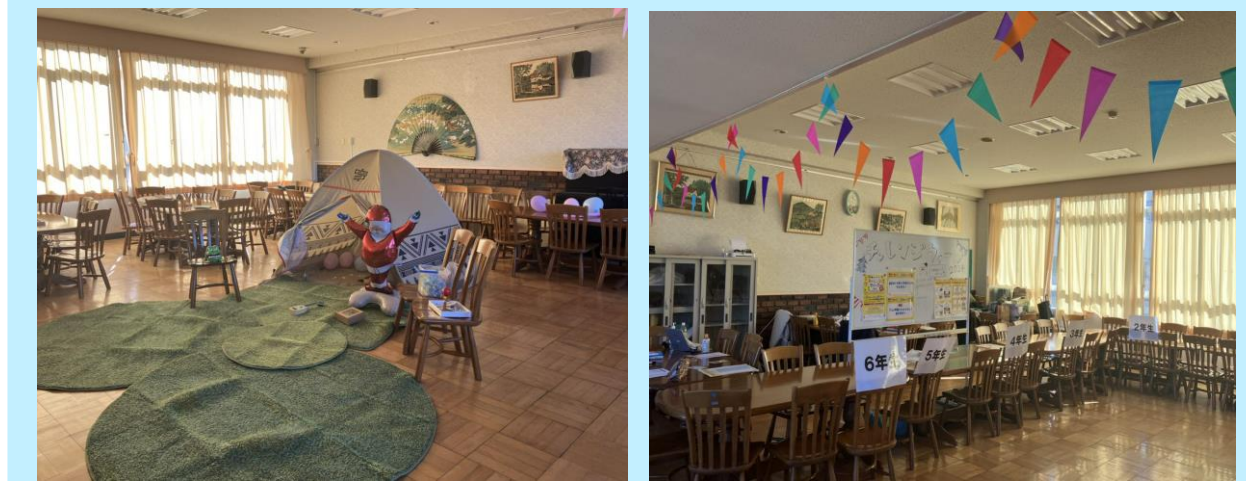
<2階ランチルーム>

使用頻度の少ない「ランチルーム」をプログラムを開始するまでの参加児童待機場所・放課後遊べる空間へ簡易整備。

【レイアウト前】



【レイアウト後】



今回、時間割の都合上、授業が早く終わる児童の待機時間場所・プログラム開始前の出欠確認集合場所として、普段使用していない「ランチルーム」を簡易的にレイアウト変更し、活用した。

学校施設活用トライアルの様子

<実施写真> 12月9日(月)



(株)amulapo「身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう!」を体育館を使用し開催。体育館のプロジェクター、スクリーン、長机、イスを借用。宇宙に関する映像を見て、頭を使う作業をし、ロケットを飛ばす。ロケットを遠くに飛ばすために風船を合体させたり、紙を厚く巻いたり子どもの自発的な創意工夫を感じるプログラム。体育館を使用することで、工作ゾーン(集中)、ロケット飛ばすゾーン(賑やか)に空間を分けて使用することができた。大人のサポートを求めずに自分でオリジナルロケットを完成させたい!といった児童が多かった。



一般社団法人日本昔ばなし協会「アニメ声優にチャレンジして海を学ぼう!」を被服室を使用し開催。モニター、長机、イスを借用。海に関する日本昔話アニメを見て役になりきって声優にチャレンジプログラム。女の子の参加が多く、アニメや声優業に興味のある児童が参加した。最初は恥ずかしがって、なかなか声を出すのも覚束なかったが、時間内に役を変更したり、会話数が多くなることで声優になりきり演じることも多くなった。人の前で発表すること、誰かになりきることを簡易的に体験できるプログラムであった。

学校施設活用トライアルの様子

<実施写真> 12月10日(火)



(株)乃村工藝社「みんなで探そう!“チリメンモンスターってなんだ?!”」を調理室を使用し開催。理科室よりプロジェクター、理科備品(ピンセットや虫眼鏡)を借用。小袋に分かれたちりめんじゃこより小海洋生物や海洋プラスチックを探し、種別ごとに分類分けを実施。海の中に多様な生物が潜んでいること、魚が商品として提供される前に選別作業工程があること、プラスチックごみが海洋汚染につながっていることを体験を通し学んだ。モンスター探しは集中力が高く、黙々と取り組む児童が多い印象を受けた。



公益社団法人日本ダーツ協会「計算力・集中力UP!ゲームダーツ」を体育館を使用し開催。体育館より長机、イスを借用。低学年向けにはマグネットダーツや手裏剣ダーツの的に当たりやすいダーツ台、中学年～は本格的なダーツ台を用意し学年ごとレーンに分かれビンゴゲーム・カウントアップゲームを開催。ダーツに触れることのなかった児童は物珍しさから集中しゲームへ没頭。計算も暗算が得意な子が周りをサポートしゲームを進行していた印象。

学校施設活用トライアルの様子

<実施写真> | 2月11日(水)



多摩六都科学館「石と化石の観察会!」を調理室を使用し開催。理科室のプロジェクターを借用。地域の身近にある石や山や河口で採取できる多種多様な石を触って、比較して、クイズ形式で石の種類を当てる多摩六都科学館オリジナルプログラム。プロのファシリテーターが進行し、児童の興味を惹く話術や集中力が切れるタイミングでのメリハリポイントを抑えられているプログラムであった。空間を展示空間と座学空間にゾーンを分けたことで児童たちに“動き”を与え、コミュニケーションが活発化した。



(株)乃村工芸社「いろいろな材料を知って!使って!フォトフレームを作ろう!」を被服室を使用し開催。モニターを借用。内装施工で使用する壁紙やカーテンの素材、ガラスフィルム等を使用し、リサイクルを考えながら自分のオリジナルフォトフレームを作るプログラム。1年生は大人のサポートを求めていたが2年生以降は主体的に道具を使いこなし、自らのセンスから色合いや使用する材料を決めフォトフレーム作成に励んでいた。最後に鑑賞する時間を設け、自分の作成した作品の“違い”を見つけてもらった。

学校施設活用トライアルの様子

<実施写真> | 2月12日(木)



地域事業者のガラス工房くらりす「ガラスを溶かしてストラップを作ろう!」を調理室を使用し開催。児童にガラスの成分をクイズ形式にしたり、電気炉を使用し貴重なガラスが溶ける瞬間を児童見てもらったり、工作+ガラスへの理解度を高めたプログラムを実施。1番応募が殺到したプログラムであり18名定員枠に70名の応募があったため受入れ可能幅を増やした。児童は普段目にする機会が少ないカラーガラスを使用しオリジナルのストラップ体験ができることに感激した様子であった。



地域事業者の(株)大黒屋「大工さん体験にチャレンジ!」を被服室を使用し開催。導入で環境汚染や森林伐採、工務店の業務内容を映像で説明し、大工さんが普段どんな仕事をしているのか、木は地球にとってどんな影響を与えているのかを説明。教室内をストリングアートゾーン、釘打ち体験ゾーン、のこぎり・かんな削りゾーンに分けて順番事に体験会を実施。普段触れることのできない器具や木材に触れることで大工さんの仕事を疑似体験。

学校施設活用トライアルの様子

<実施写真> | 2月13日(金)



地域事業者のICHIGO-ICHIE「米粉粘土でクリスマスオーナメントを作ろう!」を調理室を使用し開催。理科室よりモニター、図工室より粘土板を借用。米粉に身近にある食べ物の色素を用いて型取りを行い、オーブンで焼いてオーナメントを作成。野菜の種類や栄養素を学び、どんな野菜色素を使うか自分で考えながら工作できる食育プログラムを実施。クリスマスツリーに飾る用に雪だるまや星型に装飾する児童が多かった。子どもは“捏ねる作業”が好きなため、感触が面白い!と各グループで発言があった。



地域事業者の相羽建設(株)「かなりボンケーキを作ろう!」を被服室を使用し開催。木材を削ったかんなくずを細かく割いて、発泡スチロールにかんなくずをボンド等にて貼っていき、その上にデコレーション素材を貼り付けてケーキ完成。かんなくず体験ゾーンも作り、お仕事体験+ケーキ素材に使用したかんなくずがどこからできたのか実体験として経験。普段、施工業務の廃材として出るかんなくずを再利用し、ケーキ作りで使用している素材が何を使っているのか感じながら参加できる手触り感のあるプログラムを実施。

実施内容 詳細 < 学校施設活用トライアル トライアル後の自治体・教育現場へのヒアリング >

萩山小学校校長・東村山市教育委員会に学校活用トライアル後、インタビューを実施。
実施日：2025年1月20日（月） 萩山小学校内

評価点

● 学校現場の負担を最小限に、多様な人材の参画を得て体験活動の場を提供できた

- ・ 民間ノウハウにより、普段学校に呼び込めない豊富な体験コンテンツが揃えられた。
- ・ 学校に関わる地域人材が徐々に高齢化する中で、新たな人材の参画を得て実施できた。
- ・ 実施前は業務量の増大を心配していたが、自治体や学校現場の負担が最小限に実施された。
- ・ 児童の安全管理やサポートが徹底され、教員による引率を必要としなかった。
- ・ 参加率の高さや保護者アンケート結果から、想像以上の需要があることがわかり、学校教育とは違った角度の体験の重要性を実感した。

課題点

● 学校活用時のケガや事故に対し、学校教育内/外における保険対象範囲の整理が必要

- ・ 施設内や下校中の怪我や事故に対し、どこまでが学校側の保険でカバーでき、どこから民間事業者側の保険が適用されるのか等、整理が必要なおこがわかった。

● 使用教室や使用備品の調整がスムーズにいかない場面があった

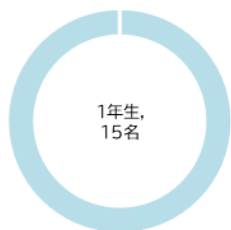
- ・ 学校スケジュールと放課後活用スケジュールのすり合わせ、関係者への周知を行っていたものの、一部で認識のずれが発生してしまった。
- ・ 特別教室の備品を借用する際に、専科の先生でなければ把握できない事柄も多く、確認の手間をかけてしまった。

2. 学校活用トライアル参加児童アンケート

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

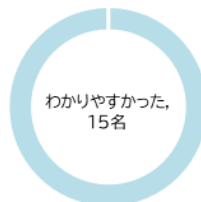
開催日 : 2024年12月9日(月) 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう<1年生>
回答数 : 15サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



回答者全員が「1年生」である。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



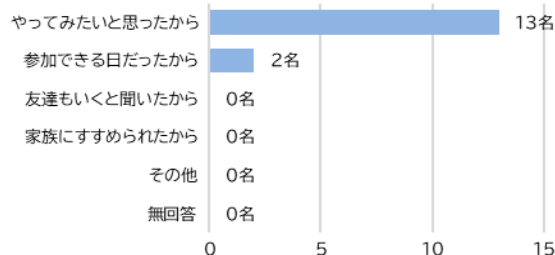
回答者全員が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



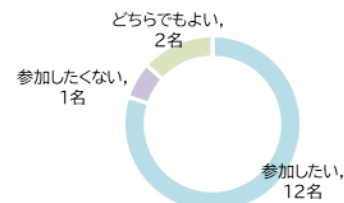
回答者全員が「とても楽しかった」と回答。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



回答者の約9割が「やってみようと思ったから」と回答。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の8割が「参加したい」と回答。

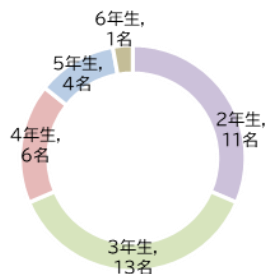
どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・かみひこうき
- ・けん玉
- ・こま
- ・のりものこうさく
- ・はしりたい!
- ・けいきづくりもやってみたい
- ・ロケットをとばしたい

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

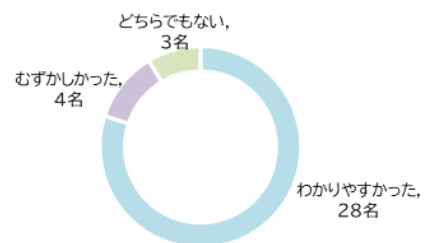
開催日 : 2024年12月9日(月) 身近なモノを使って宇宙ロケットをつくろう<2~6年生>
 回答数 : 35サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



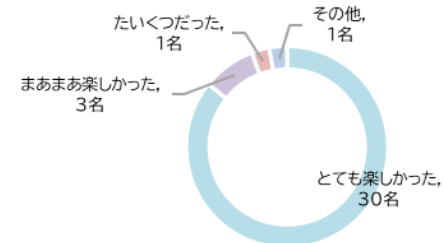
回答者の半分以上が「2年生」「3年生」と低学年が多い回答となった。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



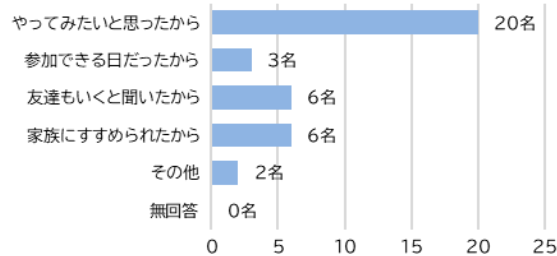
回答者の8割が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



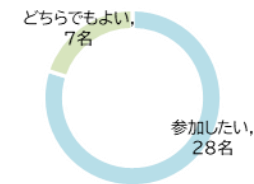
「その他」の意見として「くうきのせいのがわかった。」という意見があった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



「その他」の意見として「おもしろそうだったから」「すてきなどうぐでつくるとおもったから」という意見があった。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の8割が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・こうさくしたい
- ・マイクラレゴ
- ・ロボットをつくってうごかす
- ・今回と似たようなプログラム
- ・プラネタリウムを手づくりしたい。
- ・理科のふしぎを調べたい

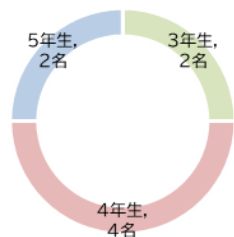
- ・サッカー
- ・ゲーム
- ・サッカープログラム
- ・きょうとおなじロケット
- ・ちがうパリエーションのロケット
- ・ちがう形のふうせんでロケットを作ってみたい！

- ・月についての詩や漢字
- ・宇宙でのことわざ、四字じゅくご
- ・宇宙に行く、重力体験、自由研究のロケット作って飛ばす
- ・サッカープログラム、CO2プログラム
- ・プログラマーに色々なことを聞きたい

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

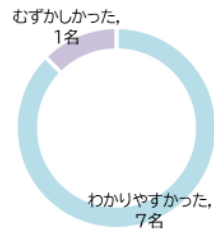
開催日 : 2024年12月9日(月) アニメ声優にチャレンジして海を学ぼう! <全学年>
回答数 : 8サンプル

【1】 あなたの学年をおしえてください。



回答者の半分が「4年生」であり、残りは2名ずつ「3年生」「5年生」である。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



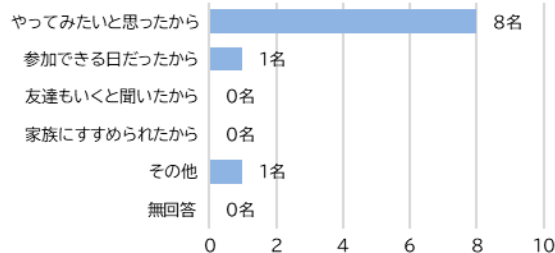
回答者の約9割が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



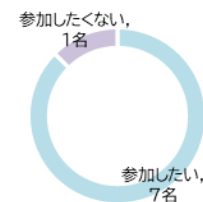
回答者全員が「とても楽しかった」と回答。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



「その他」の意見として「アニメが好きだから。」という意見があった。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の約9割が「参加したい」と回答。

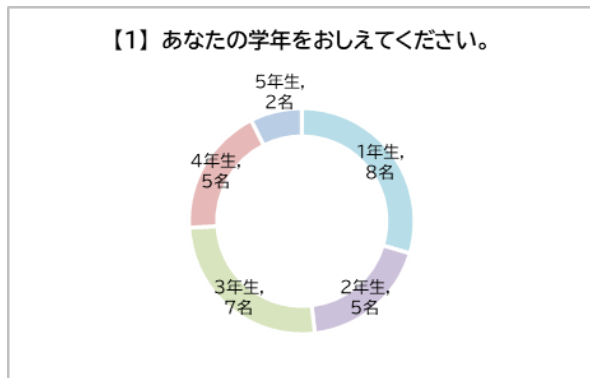
どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・たいくのたいけん
- ・声優にチャレンジしてみたいアニメなどの声優さんはすごいなと思いました。
- ・はなたれこぞう
- ・もう少し長い文章を読みたいです。ようかいを読みたいです！

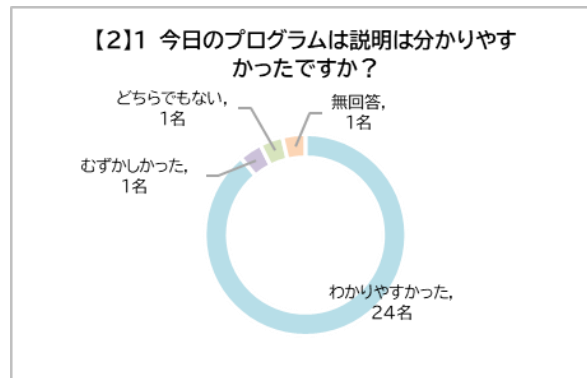
- ・イラストレーター体験
- ・またアニメ声優をやりたい
- ・ガラスを溶接して作るキーホルダー(?)

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

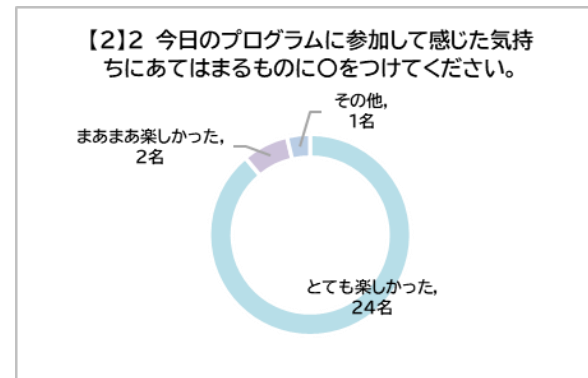
開催日 : 2024年12月10日(火) 計算力・集中力UP!ゲームダーツ<全学年>
 回答数 : 27サンプル



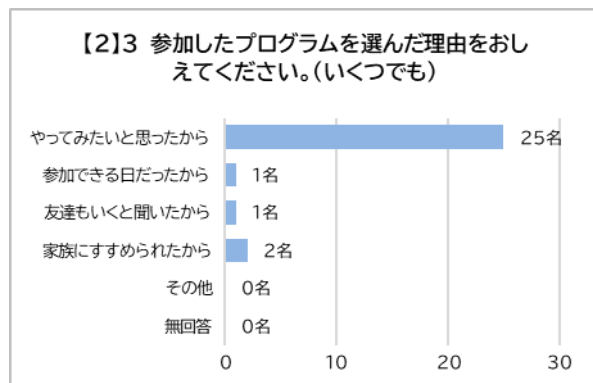
「1年生」8名が最も多く、「3年生」の7名、「2年生」「4年生」の5名、と低学年の割合が多かった。



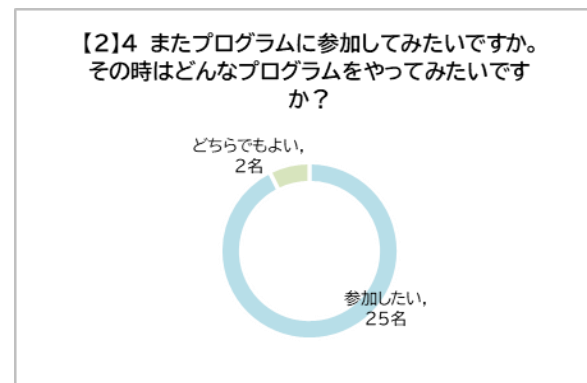
回答者の約9割が「わかりやすかった」と回答。



「その他」の意見として「また、やりたい」という意見があり、回答者全員が好意的な感想であった。



回答者の9割以上が「やってみようと思ったから」と回答。



回答者の9割以上が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

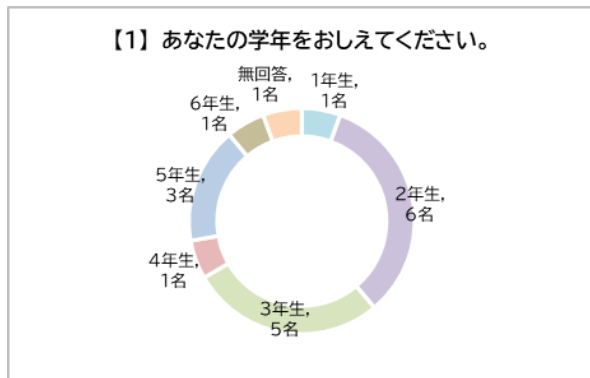
- ・ドッチボール
- ・サッカー
- ・てんすうをきそうこと
- ・まんなかに合てたらかち

- ・アーチェリー ピストル サッカー
- ・ゲーム(マイクラ)
- ・ゲーム
- ・サッカー
- ・おにごっこ教室など

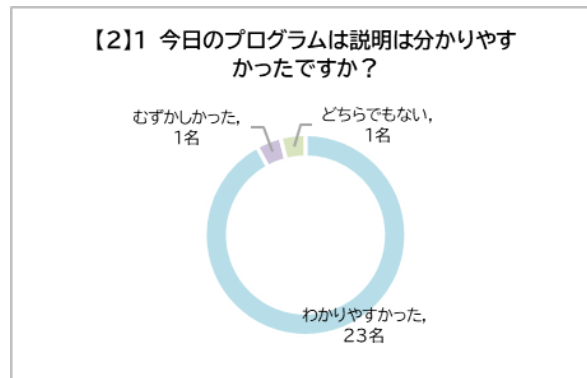
- ・サッカーのプログラムとやきゅうのプログラムをやりたい
- ・おにごっこきょうしつ
- ・ビンゴ、弓道、なわとび、おにごっこ
- ・ゲーム

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

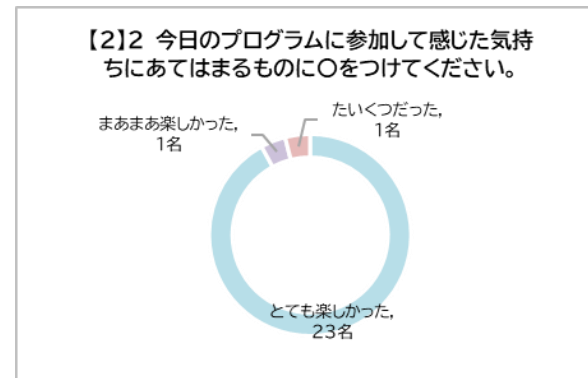
開催日 : 2024年12月10日(火) みんなで探そうチリメンモンスター! <全学年>
 回答数 : 25サンプル



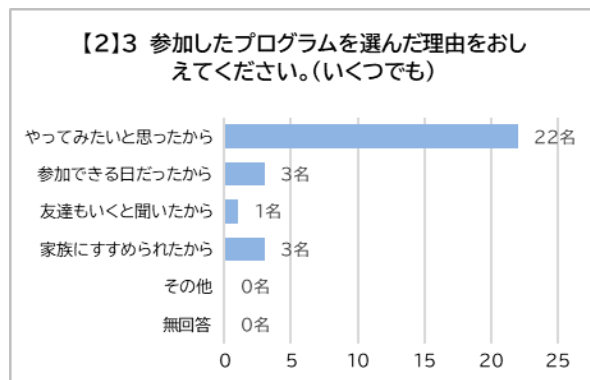
回答者の半分以上が「1年生」「2年生」「3年生」であり、低学年の割合が多かった。



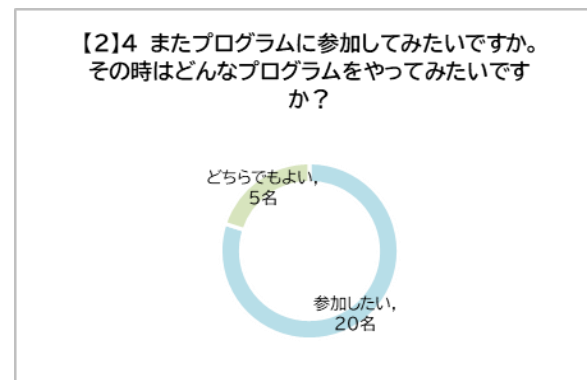
回答者の9割以上が「わかりやすかった」と回答。



回答者の9割以上が「とても楽しかった」と回答。



回答者の9割以上が「やってみようと思ったから」と回答。



回答者の8割が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・はしる
- ・おもしろいの
- ・おりょうりきょうしつ
- ・おえかき
- ・いきものとふれるプログラム

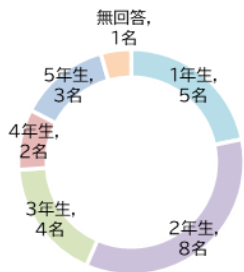
- ・マイクラ
- ・えをかく、しゃしんづくり
- ・ほかの生きものをさがすプログラムをやりたいです。
- ・見つけるのが楽しかった
- ・おりがみ

- ・体をうごかすプログラム
- ・石と化石 こう石が好きだから
- ・何かを探したり作ったりして、持ってかえれる物をつくれるプログラム。

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

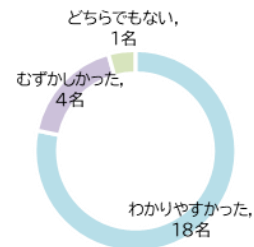
開催日 : 2024年12月11日(水) 石と化石の観察会<全学年>
回答数 : 23サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



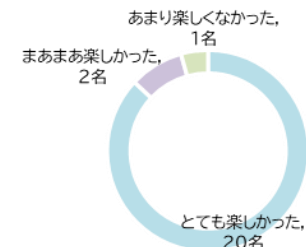
回答者の半分以上が「1年生」「2年生」である。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



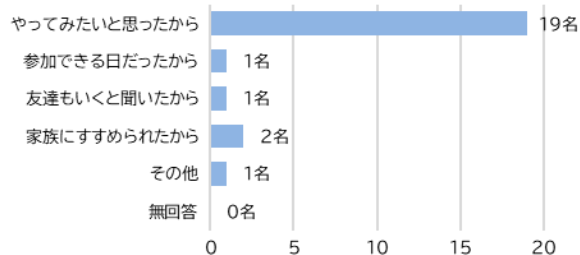
回答者の7割以上が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



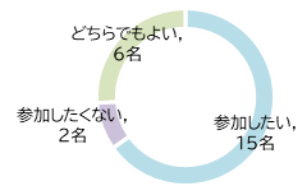
回答者の殆どが好意的な感想であった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



「その他」の意見として「石とかせきにきょうみがあるから。」という意見があった。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやってみたいですか？



回答者の6割以上が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやってみたいか、自由に意見を書いてください。

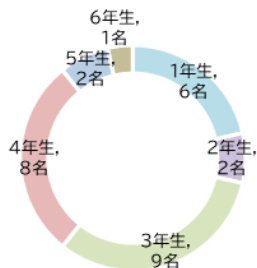
- ・石と化石をかいてみよう！
- ・かせきのほんものを、さわられるのが、いいです
- ・こんちゅう
- ・アンモナイトをさわってみたい
- ・おえかき

- ・かせきとほうせき
- ・サッカーゲーム化石ゲーム
- ・つぎはきょうりゅうのかせきを見るプログラムをやりたいです
- ・スポーツのプログラムをやりたいです。
- ・サッカープログラム、CO2プログラム

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

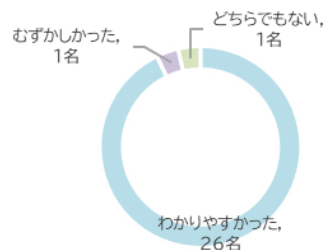
開催日 : 2024年12月11日(水) いろいろな材料を知って!使って!フォトフレームを作ろう
 回答数 : 28サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



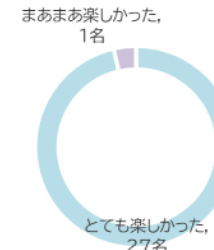
回答者の半分以上が「3年生」「4年生」で、中学年の割合が多い。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



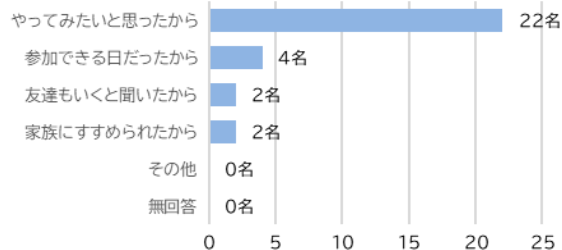
回答者の9割以上が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



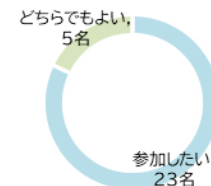
回答者全員が好意的な感想であった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



回答者の約8割が「やってみようと思ったから」と回答。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の8割以上が「参加したい」と回答。

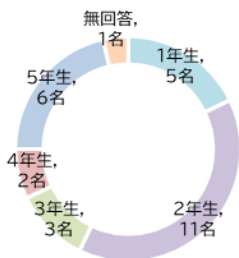
どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・フレームづくりとてもたのしかった
- ・からふるにじゆうにできてたのしかった
- ・自由に工作
- ・レジン、お絵
- ・またやりたいです。
- ・木で何かを作る。
- ・またやりたいから
- ・サッカー学校ばかりはつ
- ・フォトフレーム
- ・①ぐきちゃんをつくりたい。 ②ゲーム
- ・しぜんをイメージしたふくろをつくってみたい。
- ・工作系がいい。→いろいろな材料を使い作る。
- ・次は、ちがう材料でフォトフレームを作りたい
- ・工作など
- ・自由にものを作るプログラムをやりたいです。
- ・今日やったやつが楽しかったので今日やったやつをやりたいです
- ・お絵かきボード
- ・ゾウリムシのせいたい系をけんきゅう

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

開催日 : 2024年12月12日(木) ガラスストラップをつくろう<全学年>
回答数 : 28サンプル

【1】 あなたの学年をおしえてください。



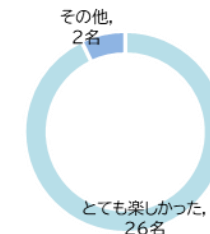
回答者の半分以上が「1年生」「2年生」と、比較的低学年が多い結果となった。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



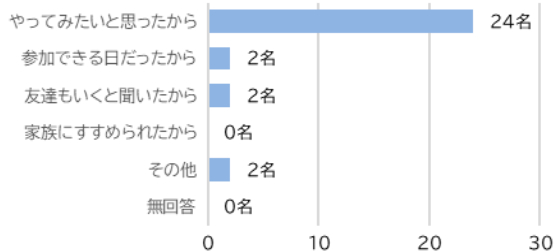
回答者全員が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



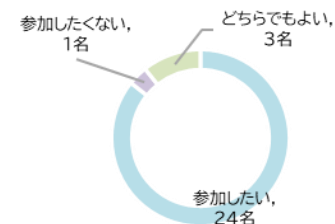
「その他」の意見として2名とも「次もやりたかった」という意見があった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



「その他」の意見として2名とも「楽しそうだった」という旨の意見があった。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやってみたいですか？



回答者の8割以上が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやってみたいか、自由に意見を書いてください。

- ・ガラスでかざりをつくろう！
- ・きれいなものをつくれるたのしいの
- ・いきものにふれること
- ・人形やぬいぐるみを作る
- ・水と海

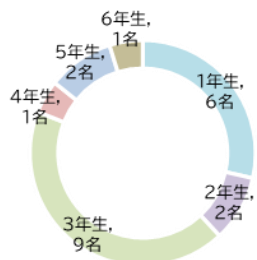
- ・じぶんではしめっからとってつくりたい
- ・ガラスストラップ
- ・ストラップのようなこまかいさぎょうのプログラム
- ・がくぶちみたいなやつをつくりたい
- ・げんじつでなんかそだてたりするやつがいいです！！
- ・ひみつきちづくり

- ・アクセサリー作り！！
- ・ビー玉作り
- ・アクセサリーづくり
- ・またガラスストラップをつくりたい。

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

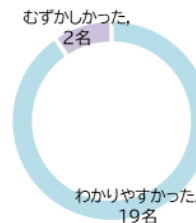
開催日 : 2024年12月12日(木) 大工さん体験にチャレンジ<全学年>
 回答数 : 21サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



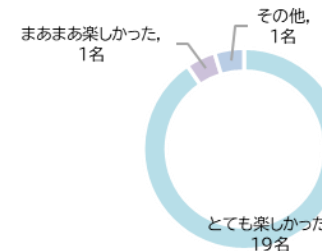
「3年生」が9名と最も多く、次に「1年生」の6名である。
 比較的低学年が多い結果となった。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



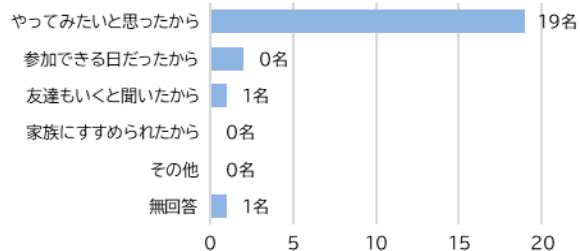
回答者の9割以上が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



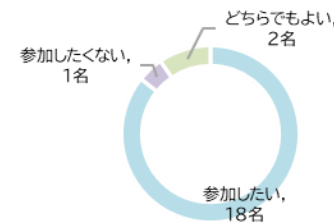
「その他」の意見として「またやりたい」という意見があり、回答者全員が好意的な感想であった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



回答者の9割以上が「やってみようと思ったから」と回答。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の8割以上が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

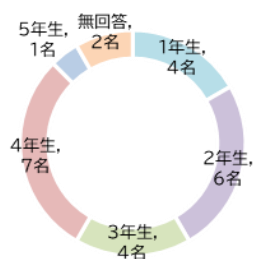
- ・ガラスをとかしてやるのがやりたかった
- ・ミシンでなにかをつくってみたい
- ・ストラップやキーホルダーを作るプログラム
- ・またこのような楽しいきかくを開いてほしい。

- ・たのしかった
- ・サッカープログラム
- ・ししゅう
- ・つくえ作り
- ・木で何かを作る

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

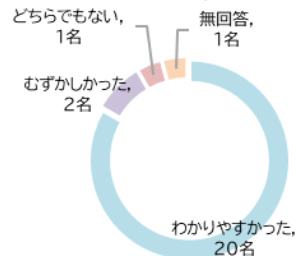
開催日 : 2024年12月13日(金) クリスマスオーナメントをつくろう<全学年>
回答数 : 24サンプル

【1】 あなたの学年をおしえてください。



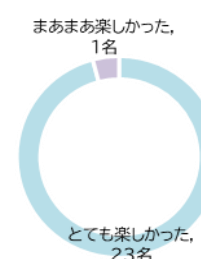
回答者の大半が「1年生」～「4年生」がとなった。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



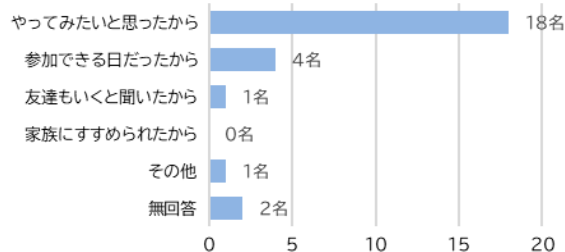
回答者の8割以上が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



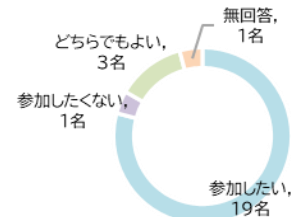
回答者全員が好意的な感想であった。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



「その他」の意見として「楽しそうだったから」という意見があった。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の約8割が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・おりょうりをいっぱい作りたい。
- ・ガラスで色々なものを作りたいです
- ・ごはんづくり
- ・ガラス
- ・レジン

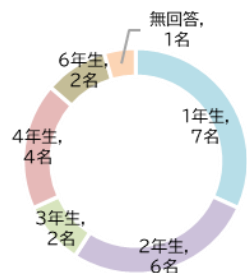
- ・手作りシール
- ・三色おだんごピンづくり
- ・電車
- ・レジン、キーホルダー
- ・そとであそぶプログロブ
- ・しょうぎのれんしゅう

学校施設活用トライアル参加児童のアンケート

開催日 : 2024年12月13日(金) カンナリボンケーキをつくろう<全学年>

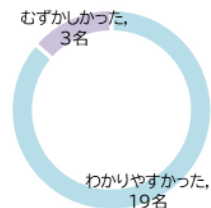
回答数 : 22サンプル

【1】あなたの学年をおしえてください。



回答者の大半が「1年生」「2年生」と、比較的低学年が多い結果となった。

【2】1 今日のプログラムは説明は分かりやすかったですか？



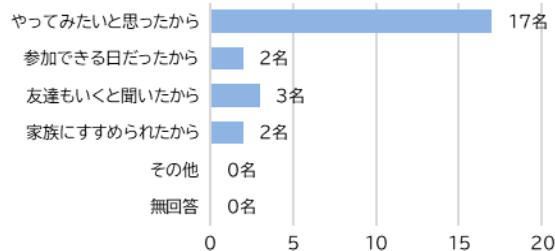
回答者の8割以上が「わかりやすかった」と回答。

【2】2 今日のプログラムに参加して感じた気持ちにあてはまるものに○をつけてください。



回答者全員が「とても楽しかった」と回答。

【2】3 参加したプログラムを選んだ理由をおしえてください。(いくつでも)



回答者の7割以上が「やってみようと思ったから」と回答。

【2】4 またプログラムに参加してみたいですか。その時はどんなプログラムをやりたいですか？



回答者の約8割が「参加したい」と回答。

どのようなプログラムをやりたいか、自由に意見を書いてください。

- ・糸のおにぎょうをつくってみたい。
- ・おかしをつくってみたい♡
- ・たのしくやってみたいです！
- ・糸をつかう。
- ・ねんどでわがしを作りたい

- ・ケーキづくり
- ・だいくさん
- ・楽しいあそび
- ・工作とか絵をかく
- ・わたしはまたかんなりぼんケーキを作りたいです

- ・きんぞくを加工したりするかんじのやつ
- ・今日みたいな大工さんとの遊ぶようなのが楽しいと思う。
- ・何かを体けんしてもってかえれるプログラム。

3. 市民ニーズ調査（保護者）

保護者アンケート

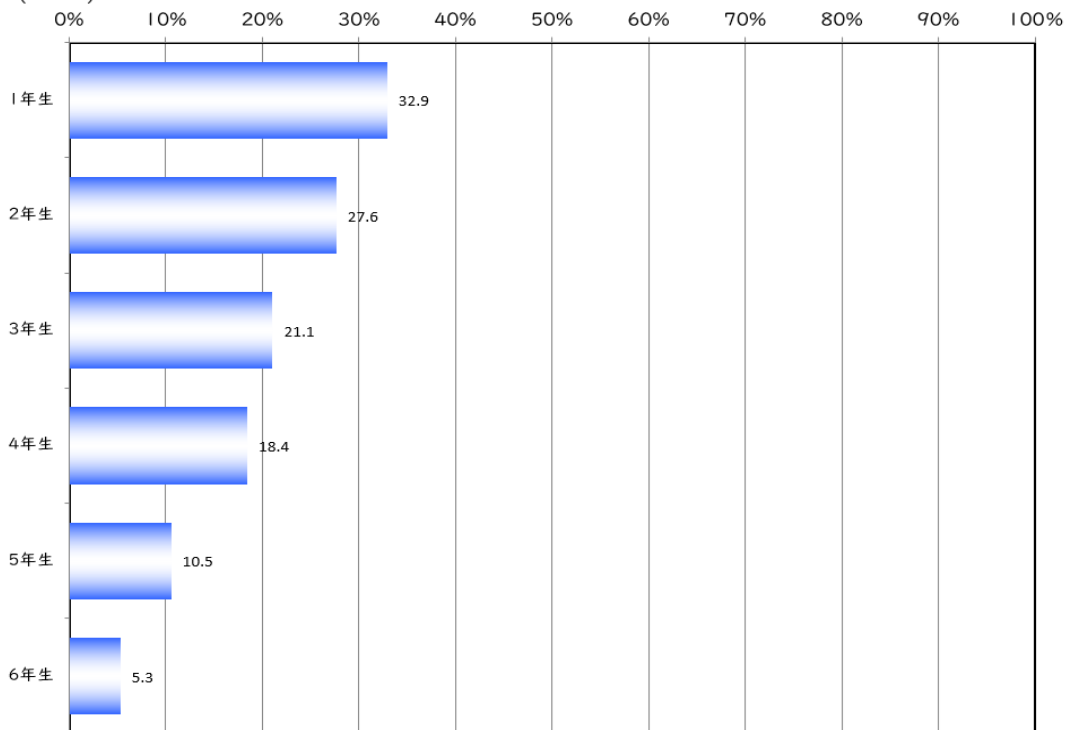
配信期間:2024年12月17日~12月26日

配信先 :東村山市「れんらくアプリ」より萩山小全保護者へアンケート配信

回答者 :76サンプル(応募児童保護者数に対し48%の回答率)

【Q1】お子様の学年を教えてください。(いくつでも)

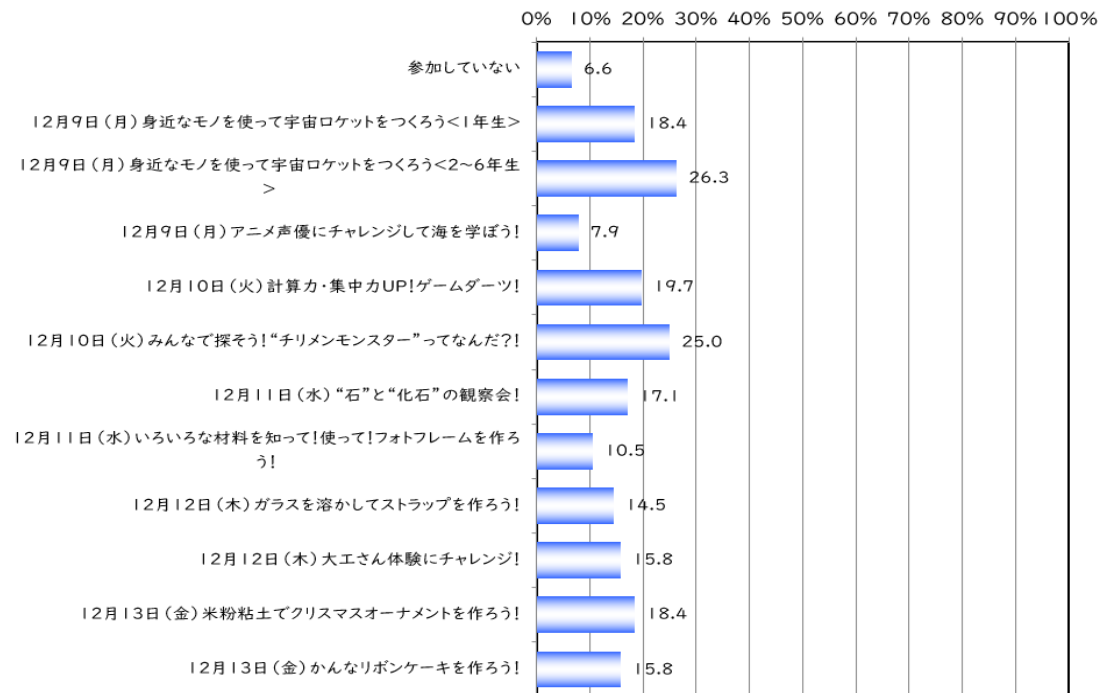
(N=76)



回答者は参加児童の属性同様、低学年の保護者の割合が高かった。
1年生(25人)2年生(21人)3年生(16人)4年生(14人)5年生(8人)6年生(4人)

【Q2】お子様は以下のプログラムに参加されましたか。参加されたプログラムを教えてください。(いくつでも)

(N=76)

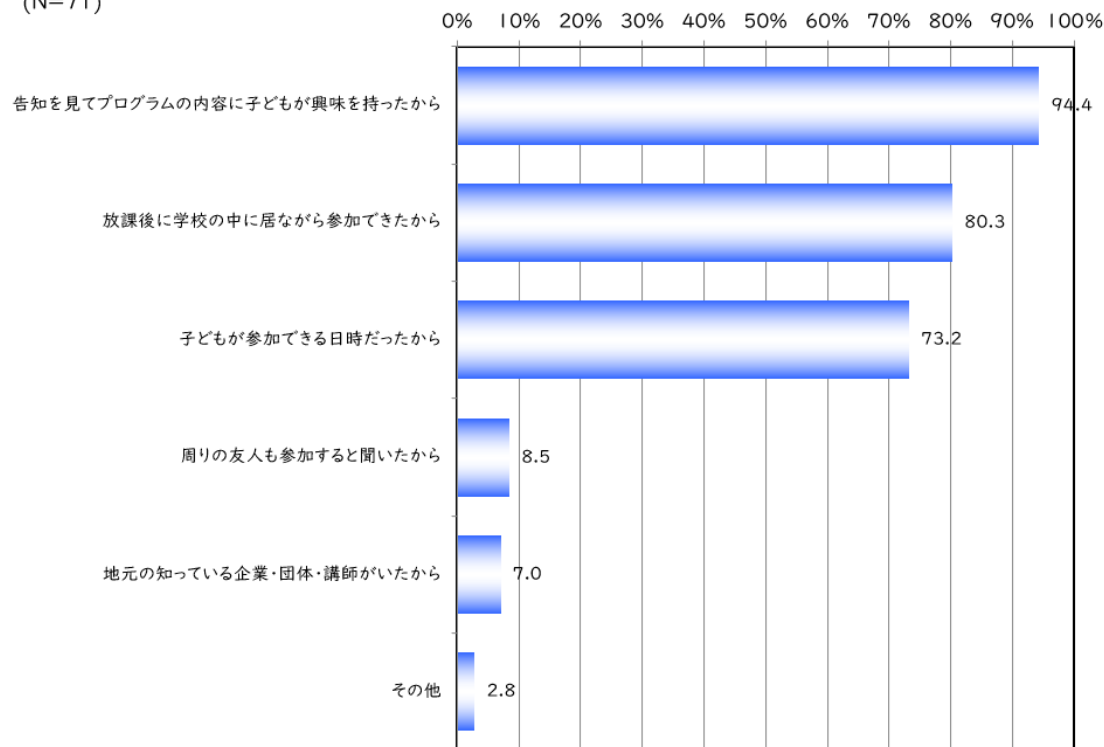


参加していないと回答した保護者は5人。
宇宙ロケット1年生(14人)、宇宙ロケット(20人)、アニメ声優(6人)、ゲームダーツ(15人)、チリメンモンスター(19人)、石と化石(13人)、フォトフレームを作ろう(8人)、ガラス細工(11人)、大工さん体験(12人)、米粉粘土(14人)、かんなりボンケーキ(12人)

保護者アンケート

【Q3】今回、「放課後で楽しむ!チャレンジウィーク2024in萩山小」に参加しようと思った理由として、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)また、その中から1番そうだと思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)[参加しようと思った理由(いくつでも)]

(N=71)

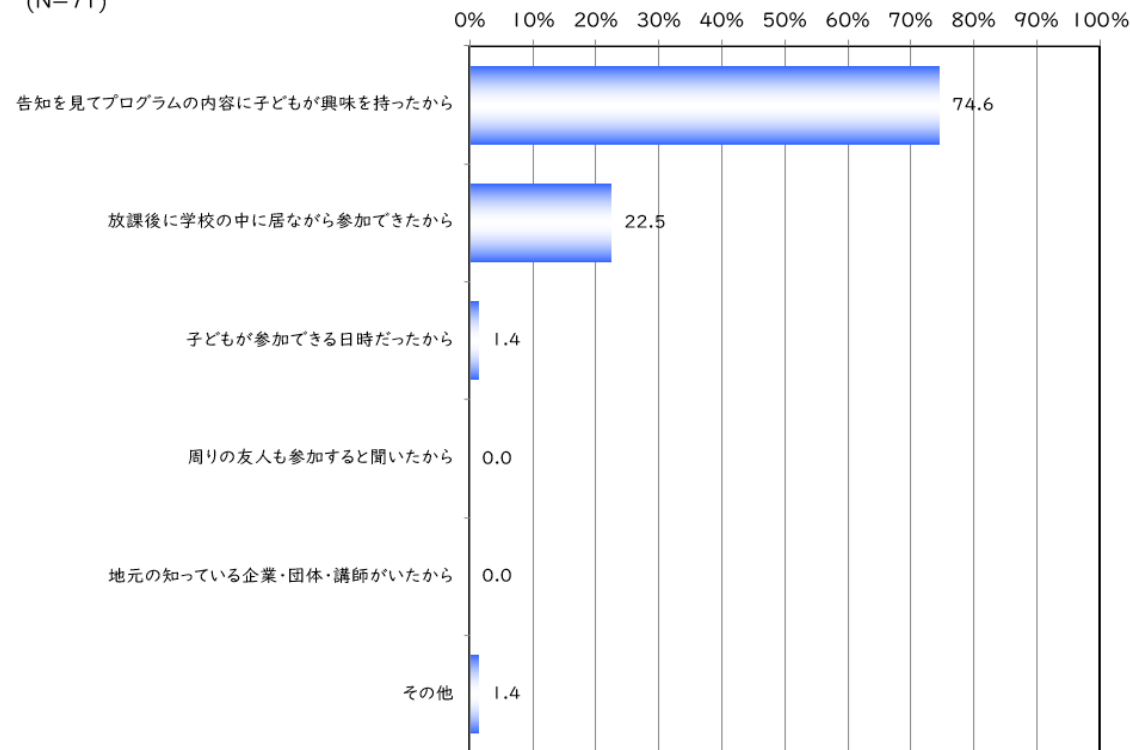


▼ その他選択した理由

1:1年生	イベントに参加するのが好き
4:4年生	いろいろなものに興味関心を持って欲しいと思ったから

【Q3】今回、「放課後で楽しむ!チャレンジウィーク2024in萩山小」に参加しようと思った理由として、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)また、その中から1番そうだと思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)[その中から1番そうだと思うもの(ひとつだけ)]

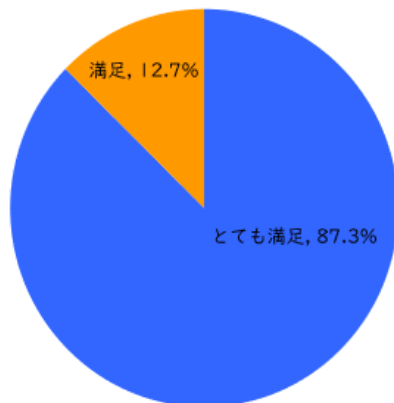
(N=71)



チャレンジウィークの「告知を見てプログラムの内容に子どもが興味を持ったから」(67人)と回答した保護者が多く、1番そうだと思うものの回答も同様だった。次点に「放課後に学校の中に居ながら参加できる」(57人)が多かった。また、「地元の知っている企業・団体・講師がいたから」(5人)と回答した保護者もいた。興味関心の次に「放課後に学校の中に居ながら参加できたから」が多い理由とし、児童の移動や保護者による送迎の負担が無かった事が要因と推測。

保護者アンケート

【Q4】 今回のイベントにお子様に参加されたことについて、保護者様の立場として満足されましたか。（ひとつだけ）
(N=71)



回答の内訳とし、とても満足(62人)、満足(9人)だった。
71人の保護者が今回の取り組みに関してとても満足・満足と回答。
あまり満足していない・満足していないと回答した保護者は0人だった。

Q5.Q4で回答された「とても満足」・「満足」と回答した理由を教えてください

自由記述式で保護者が回答

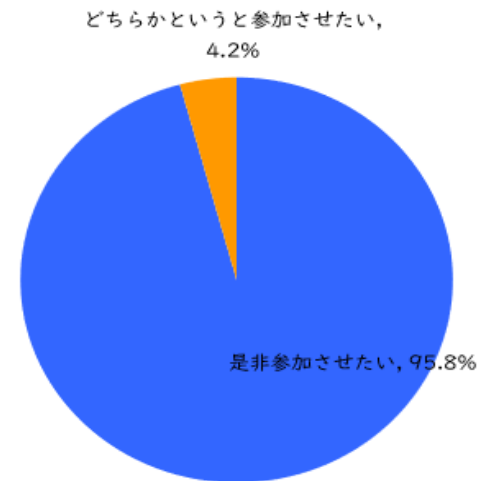
・放課後、「学校内」で普段体験できないような体験活動ができ、児童の移動や保護者の送迎の手間を省け、参加できたことが、保護者の心理的負担軽減に繋がった。

・帰宅後、児童がプログラムの感想や制作した作品を保護者に見せたりし、参加したプログラムの内容を会話することで、親子間のコミュニケーションのきっかけとなった。

・今回、無料で参加できたからと回答した保護者もいた。

・「子どもが楽しそうだった」と回答した保護者が多く、子どもも保護者も満足度の高いトライアルを実施することができた。

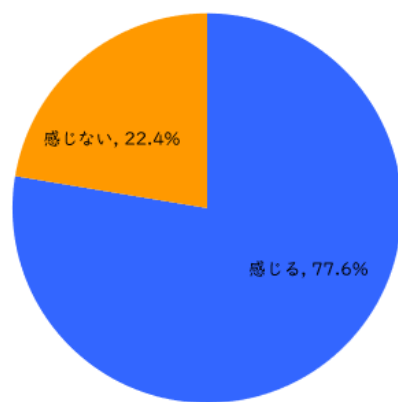
【Q6】 今後、同様のイベントがあった際に、お子様を参加させたいと思いますか。（ひとつだけ）
(N=71)



「是非参加させたい」(68人)、「どちらかというに参加させたい」(3人)と回答。
今回の活用トライアルを受けて、同様のイベント参加に前向きな保護者が多かった。
あまり参加させたくない・参加させたくないと回答した保護者は0人だった。

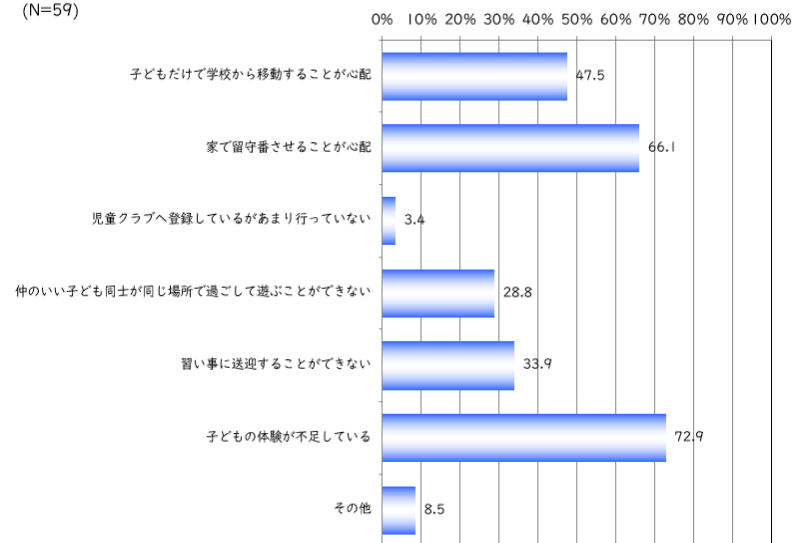
保護者アンケート

【Q7】 平日の放課後のお子様の過ごし方について課題や不安を感じますか。(ひとつだけ)
(N=76)

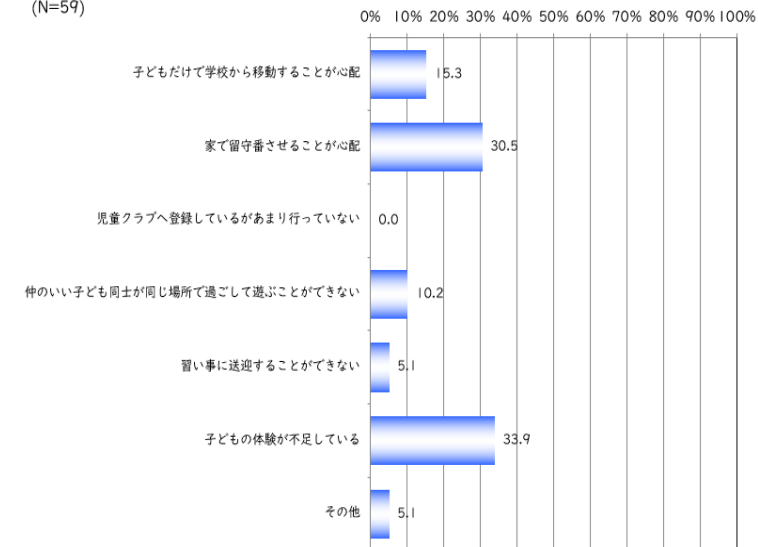


「感じる」(59人)、「感じない」(17人)と回答。感じると回答した保護者は8割近い結果となった。
平日の放課後の過ごし方について課題や不安を感じている保護者は多い。

【Q8】 課題や不安を感じるとご回答された方はその内容について、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも) また、その中から1番そうだと思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ) [課題や不安を感じる内容(いくつでも)]
(N=59)



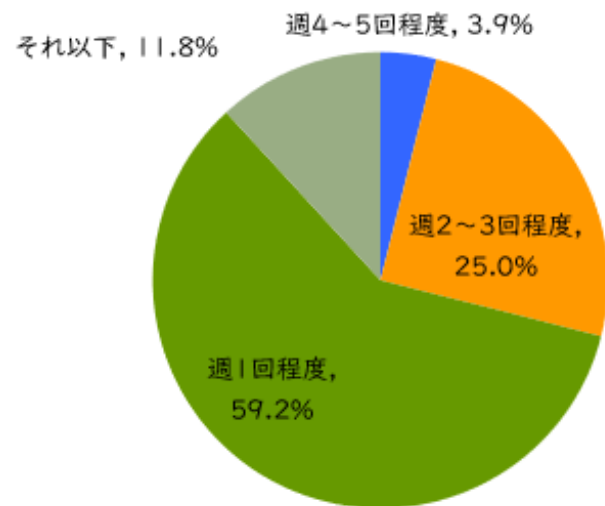
【Q8】 課題や不安を感じるとご回答された方はその内容について、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも) また、その中から1番そうだと思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ) [その中から1番そうだと思うもの(ひとつだけ)]
(N=59)



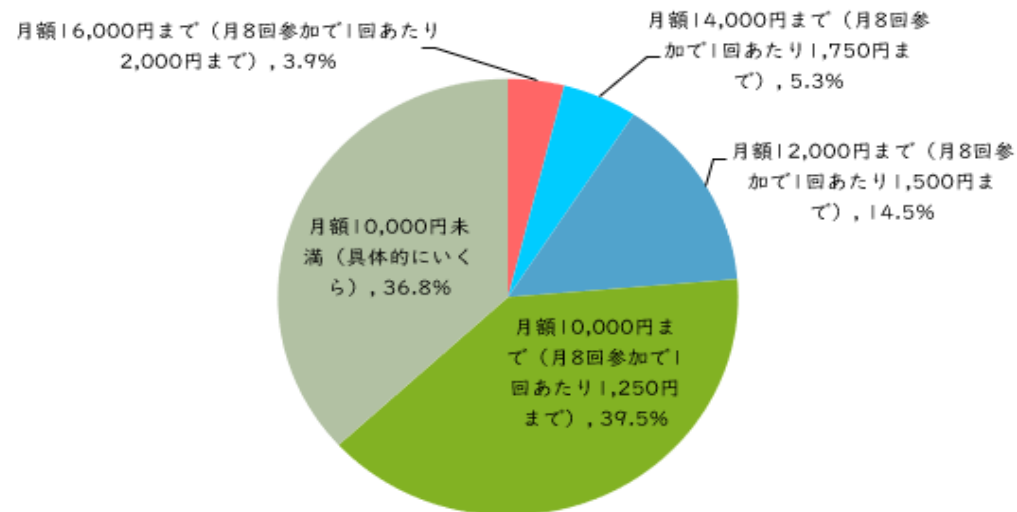
「子どもの体験が不足している」(43人)と回答した保護者が最も多く、課題意識となっていることが判明。
次点は「家で留守番させることが心配」(39人)と回答する保護者が多かった。
1つだけそうだと思うものの選択肢においても「子どもの体験が不足している」・「家で留守番させることが心配」が多く、子どもの体験機会の創出・安全管理が求められることを再確認した。

その他の意見とし、家にいてもゲームや動画を視聴をする時間になってしまうこと等が挙げられた。

【Q9】今回実施した体験プログラムに、放課後学校の中で有料で参加できるとした場合、どのくらいの頻度で利用したいと感じますか？（N=76）



【Q10】今回実施した体験プログラムに、放課後学校の中で週2回程度参加するとした場合、1人当たり月額いくらまでなら利用したいと感じますか。利用できると感じる最大の価格をひとつだけ選んでください。（ひとつだけ）（N=76）



Q10.利用希望頻度を選んだ理由を教えてください。

・「週4~5回程度」（3人）、「週2~3回程度」（19人）、「週1回程度」（45人）、「それ以下（9人）」と回答。「週1回程度」と回答した保護者は全体の6割程度だった。

週1程度の回答者理由

「他の習い事との兼ね合いのため」と回答した保護者が大多数であった。

週2~3回程度の回答理由

「他の習い事との兼ね合いのため」以外に、「帰宅時に保護者がいないため安心して過ごせる環境が欲しいから」と回答があった。

週4~5回程度の回答理由

「保護者が仕事で習い事の送迎ができないため学校で過ごせると保護者が安心」、「工作や研究が好きで放課後が活用できたら嬉しい」等の回答があった。

・「月額10,000円まで」（30人）、「月額10,000円未満」（28人）、「月額12,000円まで」（11人）、「月額14,000円まで」（4人）、「月額16,000円まで」（3人）といった回答となった。

・保護者は月額10,000円以下・月額10,000円程度の費用感であれば学校内の体験型プログラムに参加できる可能性があると分かった。また、月額18,000円まで~24,000円未満と回答した保護者はいなかった。

・10,000円未満と回答した保護者の内、5,000円（7人）、6,000円（3人）、7,000円（1人）、8,000円（7人）だった。5,000円or8,000円の意見が多かった。